

2023年度

科目名称	内部障害理学療法学
授業コード	BG329
英語名称	
学期	2023年度通年（前・後）
単位	4.0
担当教員	廣瀬 昇 (医療科学部), 中山 彰博 (医療科学部), 安田 耕平 (医療科学部)
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	本講義は、内部障害である呼吸器障害、循環器障害、代謝障害に対する理学療法について、講義・演習を行う。特に、運動負荷に伴う呼吸・循環・代謝連関の生理反応、各種徒手的呼吸介助、運動負荷設定などを考慮した理学療法評価、および理学療法プログラムの立案方法について概説し、臨床現場における実践力を養うことが目的である。 また、理学療法士が対象とする中でも代表的な内部障害について、病態の理解および理学療法評価、治療方法について教授する。
科目に関連する実務経験と授業への活用	理学療法士として臨床経験のある教員がそれぞれの専門分野について講義する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器疾患、循環器疾患、代謝性疾患に関する病態が把握できる。 ・内部障害の病態を理解し、各疾患に対する理学療法評価、理学療法プログラムプログラムの選択、プログラム実施におけるリスク管理を説明することができる。 <p>なお、この科目は、専門分野（理学療法治療学）の科目群のひとつである。</p>
計画・内容	<p>【前期】</p> <p>第1回 内部障害理学療法学総論（内部障害の定義、疫学、扱う範囲） 担当：廣瀬、中山、安田 第2回 呼吸器の構造と呼吸調節機能 担当：中山、廣瀬、安田 第3回 呼吸器機能評価の意義と方法、呼吸機能検査 担当：中山、廣瀬、安田 第4回 慢性閉塞性肺疾患の理学療法、気管支喘息の理学療法 担当：安田、廣瀬、中山 第5回 肺水腫の理学療法、間質性肺炎の理学療法 担当：安田、廣瀬、中山 第6回 肺結核後遺症の理学療法、外科手術後の理学療法 担当：安田、廣瀬、中山 第7回 排痰法 担当：安田、廣瀬、中山 第8回 胸郭可動域練習（胸郭モビライゼーション）、徒手的呼吸介助手技 担当：中山、廣瀬、安田 第9回 人工呼吸管理と理学療法 担当：廣瀬、中山、安田 第10回 気道内分泌物吸引法 担当：安田、廣瀬、中山 第11回 包括的呼吸リハビリテーション、在宅酸素療法 担当：安田、廣瀬、中山 第12回 呼吸器疾患におけるケーススタディ 担当：安田、廣瀬、中山 第13回 がんのリハビリテーションの基本概念、がんのリハビリテーションの対象と障害の種類 担当：廣瀬、中山、安田 第14回 がんのリハビリテーションに必要なアセスメント 担当：廣瀬、中山、安田 第15回 理解度確認・まとめ 担当：廣瀬、中山、安田</p> <p>【後期】</p> <p>第1回 心臓リハビリテーションの概要 担当：中山、廣瀬、安田 第2回 虚血性心疾患の理学療法 担当：廣瀬、安田、中山 第3回 心不全の理学療法 担当：廣瀬、安田、中山 第4回 大動脈疾患の理学療法 担当：廣瀬、安田、中山 第5回 閉塞性動脈硬化症の理学療法、静脈疾患（深部静脈血栓症）の理学療法 担当：中山、廣瀬、安田 第6回 不整脈と心電図の診かた 担当：廣瀬、安田、中山 第7回 運動処方（体力テスト、Borg指数を含む） 担当：廣瀬、安田、中山 第8回 循環器疾患におけるケーススタディ 担当：廣瀬、安田、中山 第9回 代謝障害 担当：中山、廣瀬、安田 第10回 エネルギー消費量、運動強度と運動プログラム 担当：安田、廣瀬、中山 第11回 糖尿病の治療と運動療法 担当：安田、廣瀬、中山</p>

2023年度

計画・内容	第12回 腎疾患と理学療法 担当：安田、廣瀬、中山 第13回 代謝障害におけるケーススタディ 担当：安田、廣瀬、中山 第14回 ICUにおける理学療法 担当：廣瀬、安田、中山 第15回 理解度確認・まとめ 担当：廣瀬、中山、安田
授業の進め方	基本的には講義・演習形式で行う。 グループディスカッションを行う回や学生に発表してもらう回もある。 授業習熟度を確保するために、理解度確認も実施する。
能動的な学びの実施	積極的にアクティブラーニングを取り入れ、実習や演習を適宜行う。
授業時間外の学修	予習（各回 1時間程度） ・指示がある場合はそれに従う。 ・指示のない回は、あらかじめ教科書の該当箇所を読み、不明な点をまとめておくこと。 復習（各回 1時間程度） ・配布資料や授業中書き留めたメモをまとめ、ノートを作る。
教科書・参考書	教科書：最新理学療法学講座 内部障害理学療法学、高橋哲也 編、医歯薬出版。 参考書：病気がみえる vol.2 循環器（循環器）、病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌、病気がみえる vol.4 呼吸器、MEDIC MEDIA .
成績評価方法と基準	課題の提出状況（20%）、理解度確認（20%）、定期試験（60%）にて評価する。
課題等に対するフィードバック	学生からのリアクションペーパーの内容をもとに、授業への反映や資料配布等を行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	課題の提出が授業の出席に代わる回もあるため、確実に課題を提出すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	授業の進め方 オンライン授業（Zoom利用）として授業実施する。 各回の授業確認課題を実施する。 成績評価方法と基準 オンラインにて、課題の提出状況（20%）、理解度確認（20%）、定期試験（60%）にて評価する。